

虫と和解せよ

～葉めぐりの虫たち～

日本野虫の会
とよさき かんじ

【講師略歴】

1975年、埼玉県生まれ。多摩美術大学絵画科油画専攻卒。

「日本野虫の会」という屋号で、嫌われがちな虫の魅力を紹介しながら生物多様性への興味をつなげる活動をしている。テーマは「虫と和解せよ」。

著書に

「くるりん！ダンゴム」(岩崎書店)

「手すりの虫観察ガイド」(文一総合出版)

「街なか葉めぐり虫さんぽ」(ベレ出版)がある。

Twitter : 日本野虫の会 @panchichi3



身近な虫を探すのに役立つグッズ

虫は小さい上に動きが速く、隠れるのが上手です。小さな虫はルーペで観察し、葉裏の虫はライトで照らして探します。記録するためには接写のできるOlympusのTGシリーズがオススメ。オプションのディフューザーがあるとベストです。

LED ハンディライト



超観察ルーペ



「街なか葉めくり虫さんぽ」
(ベレ出版)



マクロコンデジ TG シリーズ



「手すりの虫観察ガイド」
(文一総合出版)



これだけ知っておけば他の虫は（それほど）怖くない！

自然観察中に気をつけたい虫最低限リスト

【生命の危険がある】

マダニ シカやイノシシのいる場所には絶対にいる。重症熱性血小板減少症候群（SFTS）を媒介する。

オオスズメバチ スズメバチかアシナガバチに刺された人の1～2%がハチ毒アレルギーを有し、2回目に刺された時にアナフィラキシーショックというショック状態に陥ることがある。

【刺されると厄介】

チャドクガ 5-6月と8-9月にツバキやサザンカの葉で発生。毒針毛に触れると強いかゆみやかぶれが起こる

ヤマビル 山地の沢沿いなどに多い。特に6-9月に活性化し、人間の足などから吸血する。関東だと丹沢東部、千葉南部が有名。

【うざくて集中できない】

メマトイ 人間の目に集まるハエ目の総称。東洋眼虫という寄生虫を媒介することも。とにかくうざい。

ヒトスジシマカ いわゆるヤブカ。かゆい。人類の永遠の敵。

※ヒアリは2023年現在、まだ定着していません。

【対策】

マダニ **ヤマビル** **ヒトスジシマカ**

ディート成分30%以上の虫除け剤（サラテクトリッチなど）を使用する。ヤマビルは加えて忌避剤（ヒル下がりのジョニーなど）を靴に噴霧する。

オオスズメバチ 春は女王単独なので怖がる必要はない。夏から秋の集団に注意。帽子を被る。白っぽい服を着る。

チャドクガ 庭木は食痕がないかチェックして葉をすいておく。手入れをしない木ほど発生しやすい。

東京都薬用植物園の植物 × いそいな虫リスト

【植物名】

アカメガシワ (葉・花外蜜線)
アケビ (葉)
アシタバ (葉)
アメリカノウゼンカズラ (花)
アラカシ (葉)
イタドリ (葉)
イヌビワ (葉)
イボタノ (葉)
ウイキョウ (花)
ウツギ (花)
ウド (花)
ウマノスズクサ (葉)
エノキ (葉)
オオアラセイトウ (花・葉)
オカトラノオ (花)
オミナエシ (花)
オニグルミ (葉)
オニドコロ (葉)
カキノキ (葉)
ガクアジサイ (花)
カナムグラ (葉)
ガマズミ (葉)
カラスウリ (葉)
カラスザンショウ (葉)
カラムシ (葉)
キキョウ (花)
ククイモ (葉)
ギシギシ (葉)
キハダ (葉)
クサギ (葉)
クズ (花・葉)
クスノキ (葉)
クチナシ (葉)
クヌギ (葉)
クリ (果実)
クワモドキ (オオブタクサ) (葉)
コクサギ (葉)
コナラ (葉・果実)

【昆虫名】

アリ類
アケビコノハ幼虫
キアゲハ幼虫
アリ類
ムラサキシジミ
カツオゾウムシ／カシルリオトシブミ
イヌビワハマキモドキ
イボタガ
アカスジカメムシ
ウツギノヒメハナバチ
ドロバチ類／ハナアブ類
ジャコウアゲハ
タマムシ／ゴマダラチョウ他
スジグロシロチョウ
アサギマダラ／ハナアブ類
セイボウ類
オニグルミマルハバチ幼虫
ダイショウセセリ
イラガ類幼虫
ヨツスジハナカミキリ
キタテハ幼虫／オンブバッタ
サンゴジュハムシ
クロウリハムシ
アゲハ類
ラミーカミキリ／フクラスズメ幼虫
クロウリハムシ
アワダチソウグンバイ
コガタルリハムシ
アゲハ類
クサギカメムシ
ウラギンシジミ、オジロアシナガゾウムシ他
アオスジアゲハ、クスベニヒラタカスミカメ
オオスカシバ
オオミズアオ、クヌギカメムシ
クリシギゾウムシ
ブタクサハムシ
カラスアゲハ
オオミズアオ／コナラシギゾウムシ

【植物名】

コブシ (葉)
ゴヨウアケビ (葉)
サザンカ (葉)
サトイモ (葉)
サラシナショウマ (花)
サルトリイバラ (葉)
サンショウ (葉)
シナノキ (枝・葉)
ジャガイモ (葉)
ジュズダマ (葉)
セイタカアワダチソウ (葉)
セイヨウアブラナ (花)
センニンソウ (葉)
タチツボスミレ (葉)
ツツジ類 (葉)
ツバキ (葉)
ツユクサ (葉)
ツワブキ (葉)
ニシキギ (果実・葉)
ネムノキ (葉)
ノイバラ (花)
ハッカ (葉)
ヒガンバナ (花)
ヒサカキ (葉)
ヒマワリ (葉)
フジバカマ (花)
ヘクソカズラ (葉)
ブドウ (葉)
マユミ (果実・葉)
ミズヒキ (花)
ミソハギ (葉)
モチツツジ (葉・花)
ムクノキ (葉)
ムラサキシキブ (葉)
ヤツデ (葉裏)
ヤマアジサイ (花)
ヤマグワ (葉・枝)
ヤブカラシ (葉)
ヤマノイモ (葉)
ヨモギ (葉)

【昆虫名】

コブシハバチ／アカスジキンカメムシ
アケビコノハ幼虫
チャドクガ
セスジスズメ幼虫
コアオハナムグリ他
ルリタテハ幼虫
アゲハ類
タケウチトゲアワフキ
オオニジュウヤホシテントウ
クロコノマチョウ
セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ
チョウ類／ハナアブ類
オオアカマルノミハムシ
ツマグロヒョウモン幼虫
ルリチュウレンジ
チャドクガ
キバラルリクビボソハムシ
エグリゲンバイ
キバラヘリカメムシ／ミノウスバ
キチョウ
コガネムシ類
ハッカハムシ
クロアゲハ
ホタルガ幼虫
アワダチソウグンバイ
アサギマダラ
ヘクソカズラグンバイ／チャイロハバチ幼虫
アカガネサルハムシ
キバラヘリカメムシ／ミノウスバ
ハリカメムシ
ルリモンハナバチ
モチツツジカスミカメ
ムクノキトガリキジラミ
イチモンジカメノコハムシ
クロスジホソサジヨコバイ
ヨツスジハナカミキリ
クワコ／クワキジラミ／キボシカミキリ
セスジスズメ他
ヤマイモハムシ
ヨモギハムシ